

国際スケート連盟コミュニケーション第 1672 号

シングルおよびペア・スケートティング

2011 -2012 シーズンにおける価値尺度(SOV), GOE 採点ガイドライン, 難度レベルの修正

I. 価値尺度 (SOV)

ISU コミュニケーション第 1611 号で発表された SOV 表に以下の変更がなされる.

		+3	+2	+1	BASE	BASE<	-1	-2	-3
シングルおよびペア・スケートティング									
ジャンプ									
Double Toeloop	2T	0,6	0,4	0,2	<u>1,3</u>	<u>0,9</u>	-0,2	-0,4	-0,6
Double Salchow	2S	0,6	0,4	0,2	<u>1,3</u>	<u>0,9</u>	-0,2	-0,4	-0,6
ステップおよびスパイラル・シーケンス									
ステップ・シーケンス - 任意のパターン (ストレート・ライン, サーキュラー, サーペンタイン)									
Level 1	SI/Ci/Se1	1,5	1,0	0,5	<u>1,8</u>		-0,3	-0,6	-0,9
Level 2	SI/Ci/Se2	1,5	1,0	0,5	<u>2,6</u>		-0,3	-0,6	-0,9
Level 3	SI/Ci/Se3	1,5	1,0	0,5	<u>3,3</u>		-0,7	-1,4	-2,1
Level 4	SI/Ci/Se4	<u>2,1</u>	<u>1,4</u>	<u>0,7</u>	<u>3,9</u>		-0,7	-1,4	-2,1
Choreo Step Seq.	ChSt	<u>2,1</u>	<u>1,4</u>	<u>0,7</u>	<u>2,0</u>		-0,5	-1,0	-1,5
Choreo Spirals	ChSp	<u>2,1</u>	<u>1,4</u>	<u>0,7</u>	<u>2,0</u>		-0,5	-1,0	-1,5
ペア・スケートティング									
スロウ									
Double Toeloop	2Th	1,5	1,0	0,5	<u>2,5</u>	<u>1,8</u>	-0,5	-1,0	-1,5
Double Salchow	2St	1,5	1,0	0,5	<u>2,5</u>	<u>1,8</u>	-0,5	-1,0	-1,5
Double Loop	2LoTh	1,5	1,0	0,5	<u>2,8</u>	<u>2,0</u>	-0,5	-1,0	-1,5

II. シングル/ペア要素の更新された +GOE 採点ガイドライン

<p>コリオ・ ステップ・ シーケンス (シングル)</p>	<p>1) エネルギーが十分で焦点の定まった演技 2) シーケンス中のスピード, またはスピードの加速が十分 3)十分に明確で正確 4) 全身が関わり十分にコントロールされた正確なステップ 5) 独創的でオリジナリティがある 6) 無駄な力が全く無い 7) <u>プログラムのコンセプト/特徴を反映している</u> 8) 音楽構造に要素が合っている</p>
<p>コリオ・ スパイラル・ シーケンス (シングル)</p>	<p>1) 流れがよく, エネルギーが十分で焦点の定まった演技 2) シーケンスなかのスピードが十分 3) 身体のラインが良く(四肢)が完全に伸びている 4) 柔軟性が十分 5) 独創的でオリジナリティがある 6) <u>スパイラル姿勢が変形姿勢に素早く楽々と達している</u> 7) <u>プログラムのコンセプト/特徴を反映している</u> 8) 音楽構造に要素が合っている</p>
<p>コリオ・ スパイラル・ シーケンス (ペア)</p>	<p>1) 流れがよくエネルギーが十分で焦点の定まった演技 2) シーケンス中のスピードが十分 3) 両者とも身体のラインが良く(四肢)完全に伸びている 4) 両者とも柔軟性が十分 5) 独創的でオリジナリティがある 6) <u>スパイラル姿勢や姿勢変形に素早く楽々と達している</u> 7) <u>プログラムのコンセプト/特徴を反映している</u> 8) 音楽構造に要素が合っている</p>

III. SP, FS でのエラーに対する更新された GOE 確定のためのガイドライン

無価値(no Value)要素はジャッジ・パネルに示される。そのような要素の GOE は結果に影響しない。複合エラーの場合には、それぞれのエラーに対する GOE の引き下げが合算される。

シングル・スケーティング

最終的な GOE が 必ずマイナスとなるエラー	引き下げ 他	最終的な GOE の＋は 制約されないエラー	引き下げ 他
ジャンプ要素			
SP: 規定回転数に 1 回転以上不足	GOE -3	スピード, 高さ, 距離, 空中姿勢が拙劣	-1 to -2
SP: 1 つのジャンプのみからなるコンボ	GOE -3	回転が足りない(記号無し)	-1
ダウングレード判定 (Downgraded)(記号 <<)	-2 to -3	回転不足判定 (Under-rotated)(記号 <)	-1 to -2
SP: ジャンプの前に要求されているステップ/ 動作が無い	-3	SP: ステップ/動作から直ちにジャンプしない, ジャンプ前のステップ/動作が 1 つのみ	-1 to -2
転倒	-3	拙劣な踏み切り	-1 to -2
1 ジャンプの着氷が両足	-3	ジャンプ間で流れ/リズムが無くなる(コンビネーション/シーケンス)	-1 to -2
1 ジャンプの着氷でのステップ・アウト	-2 to -3	拙い着氷 (悪い姿勢/間違ったエッジ/引っかき等)	-1 to -2
1 ジャンプで両手がタッチ・ダウン	-2	長い構え	-1 to -2
ジャンプの間に 2 つのスリー・ターン (ジャンプ・コンビネーション)	-2	片手またはフリー・フットがタッチ・ダウン	-1
F/Lz での間違ったエッジでの開始 (記号 "e")	-2 to -3	F/Lz での不明確なエッジでの開始 (sign "e")	-1 to -2
スピン			
転倒	-3	必須回転数に満たない	-1 to -2
SP: 空中姿勢がとれていない (F スピン)	-2 to -3	姿勢が拙劣/ぎこちない, 回転速度が遅い, 軸の流れ	-1 to -3
両手がタッチ・ダウン	-2	FS: 空中姿勢がとれていない (F スピン/F エントランス)	-1 to -3
		足換えが拙劣 (入/出のカーブ, 中間姿勢になる等)	-1 to -3
		F スピンでの正しくない踏み切り, 着氷	-1 to -2
		フリー・フットまたは片手がタッチ・ダウン	-1
ステップ			
転倒	-3	SP: パターンが正しくない	-1 to -2
ステップ/ターンを行なっているのがパターンの半分に満たない	-2 to -3	ステップやターンの質, 姿勢が拙劣	-1 to -3
		つまずき	-1 to -2
		音楽に一致していない	-1 to -2
		SP: 半回転を超えるリストにあるジャンプが含まれる	-1
スパイラル			
転倒	-3	姿勢が拙劣	-1 to -3
		つまずき	-1 to -2
		エッジがしっかりしていない	-1 to -2

ペア・スケーティング

最終的な GOE が 必ずマイナスとなるエラー	引き下げ 他	最終的な GOE の+は 制約されないエラー	引き下げ 他
リフト			
転倒	-3	空中または着氷姿勢が拙劣	-1 to -3
上げる過程に重大な問題あり	-3	スピードおよび/または距離が拙劣	-1 to -3
女子が男子に崩れかかる	-2	男子の回転が拙劣	-1 to -3
女子の踏み切りまたは着氷が両足	-2	拙劣な踏み切り/拙い着氷	-1 to -3
		長い構え	-1
		フリー・フットのタッチ・ダウン	-1
ツイスト・リフト			
SP: 1回転	GOE -3	高さまたは距離が拙劣	-1 to -3
転倒	-3	拙劣な踏み切り(スピード不足, 重大なひっかけ, トウを突かない)	-1 to -2
女子が男子に崩れかかる	-2 to -3	男子の肩で指示されたキャッチ	-1 to -2
女子が着氷前に空中でキャッチされない	-2	拙い着氷(スピード不足, 姿勢が悪い, ぎこちないキャッチ)	-1 to -2
女子の着氷が両足	-2	女子がウエストでキャッチされない	-1 to -2
女子の両手がタッチ・ダウン	-2	長い構え	-1
ダウングレード判定(Downgraded) (記号 <<)	-2	男子の出が両足	-1
		フリー・フットのタッチ・ダウン	-1
ジャンプ要素, スロウ・ジャンプ			
SP: 規定回転数に1回転以上不足	GOE -3	スピード, 高さ, 距離, 空中姿勢が拙劣	-1 to -2
転倒	-3	ユニゾンの欠如-ジャンプ要素	-1 to -3
1ジャンプの開始または着氷が両足	-2	二人の距離が離れすぎ-ジャンプ要素	-1 to -3
1ジャンプの着氷でのステップ・アウト	-2	拙劣な踏み切り	-1 to -2
1ジャンプで両手がタッチ・ダウン	-2	回転が足りない(記号無し)	-1
ダウングレード判定(Downgraded) (記号 <<)	-2 to -3	回転不足判定 (Under-rotated) (sign <)	-1 to -2
二人の回転数が不揃い	-2	ジャンプ間で流れ/リズムが無くなる(コンビネーション/シーケンス)	-1 to -2
ジャンプの間に2つのスリー・ターン (ジャンプ・コンビネーション)	-2	踏み切り時の男子の姿勢が拙劣-スロウ・ジャンプ	-1 to -2
F/Lz での間違ったエッジでの開始 (記号 "e")	-2 to -3	F/Lz での不明確なエッジでの開始 (記号 "e")	-1 to -2
		拙い着氷 (悪い姿勢/間違ったエッジ/引っかけ等)	-1 to -2
		長い構え	-1 to -2
		片手またはフリー・フットがタッチ・ダウン	-1
ソロ・スピン, ペア・スピン			
転倒	-3	必須回転数に満たない	-1 to -2
両手がタッチ・ダウン	-2	姿勢が拙劣/ぎこちない, 回転速度が遅い, 軸流れ	-1 to -3
		空中姿勢がとれていない(F スピン/F エントランス)	-1 to -3
		足換えが拙劣	-1 to -3
		回転速度が遅い, 遅くなる	-1 to -3
		ユニゾンの欠如, 二人の距離が離れすぎ	-1 to -3
		正しくない踏み切りまたは着氷(F スピン/F エントランス)	-1 to -2
		SP, PCoSp: 足換えが同時ではない	-1 to -2
		回転が止まる(回転方向の転換時は除く)	-1 to -2
		フリー・フットまたは片手がタッチ・ダウン	-1
デス・スパイラル			
転倒	-3	女子の姿勢が拙劣(高過ぎ等)	-1 to -3
ピボット姿勢が不正(軸足がトウではない等)	-2 to -3	出が拙劣	-1 to -3
女子がブレード以外の部分で支持あり	-2 to -3	回転速度が遅い, 遅くなる	-1 to -3
		女子のエッジがしっかりしていない	-1
ステップ			
転倒	-3	SP: パターンが正しくない	-1 to -2
ステップ/ターンを行なっているのがパターンの半分に満たない	-2 to -3	ステップやターンの質, 姿勢が拙劣	-1 to -3
		つまずき	-1 to -2
		音楽に一致していない	-1 to -2
		SP: 半回転を超えるリストにあるジャンプが含まれる	-1
スパイラル			
転倒	-3	姿勢が拙劣	-1 to -3
		つまずき	-1 to -2
		エッジがしっかりしていない	-1 to -2

IV. 難度レベル, シングル・スケーティング

各レベルの特徴の数： レベル2は2個 レベル3は3個 レベル4は4個

<p>ステップ シーケンス</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) シーケンス中のターンおよびステップが、やや多様 (レベル2), 多様 (レベル3), 複雑(レベル4)である(必須) 2) 完全に体が回転する両方向(左と右)への(ターン, ステップによる)回転. 各回転方向とも全体でパターンの少なくとも1/3はカバーすること. 3) <u>少なくともパターンの1/2において上半身の動きを使っている</u> 4) <u>少なくともパターンの半分を片足のみで行なう</u> 5) <u>シーケンスの中に素早く実行する, 難しい3つのターン(ロッカー, カウンター, ブラケット, ツィズル, ループ)の組み合わせ. 異なるものを2つ.</u>
<p>すべての スピン</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基本姿勢または (スピン・コンビネーションのみだが) 中間姿勢での1つの難しい姿勢バリエーション 2) 基本姿勢での別の難しいバリエーション. 前項のものとは著しく異なるものであり, <ul style="list-style-type: none"> ● 足換えを伴う単一姿勢のスピン – 前項のものとは異なる足で行うこと ● 足換え無しのスピン・コンビネーション – 前項のものとは異なる姿勢で行うこと ● 足換えを伴うスピン・コンビネーション – 前項のものとは異なる足および異なる姿勢で行うこと 3) ジャンプにより行われる足換え 4) バック・エントランス/フライング・エントランスの難しいバリエーション/フライング・シット・スピンドで踏み切り足と同じ足で着氷または着氷の際に足換え 5) シット姿勢またはキャメル姿勢, <u>レイバック姿勢, ビールマン姿勢</u>での明確なエッジの変更 (シット姿勢の場合にはバック・インサイドからフォア・アウトサイドのみ) 6) 左右の足とも3基本姿勢すべてを含む 7) シット姿勢またはキャメル姿勢でのただちに続けて行う両方向のスピン 8) 姿勢/バリエーション, 足, エッジを変更せずに少なくとも8回転 (キャメル, 難しいシット, レイバック, 難しいアップライト). <u>1つのスピンにつき1回のみ数える.</u> <p>レイバック・スピンに対する追加的な特徴項目:</p> <ol style="list-style-type: none"> 9) バックからサイドまたはその反対への1回の明確な姿勢変更. (ほかのスピン的一部分としてレイバック・スピが行われた場合も数える) 10) レイバック・スピンからのビールマン姿勢 (SP-レイバック・スピンドで8回転してから) <p>バック・エントランス, <u>フライング・エントランス</u>, エッジの変更, いずれの種類の難しいスピン・バリエーションも, レベルを上げるための特徴として数えることができるのはプログラム中で (試みられた最初のスピンでの) 一度のみである.</p> <p>足換えを伴うスピン・コンビネーションでは, ショート・プログラム, フリー・スケーティングとも, 3つの基本姿勢すべてを含むことがレベル2-4を獲得するために必須である.</p> <p>足換えを伴うスピンでは, フリー・スケーティングにおいて, 左右の足とも少なくとも1つの基本姿勢を含むことがレベル2-4を獲得するために必須である. ショート・プログラムにおいてこの要件が満たされない場合には, そのスピンにはレベルは無く結果として無価値となる.</p> <p>いずれの足換えを伴うスピンでも, 一方の足で獲得することができる特徴の数は最大2個である.</p>

難度レベル、ペア・スケートティング

各レベルの特徴の数： レベル2は2個 レベル3は3個 レベル4は4個

ツイスト リフト	<ol style="list-style-type: none"> 1) 女子のスプリット姿勢(体の軸から各足少なくとも45度は開く) 2) 女子の(両)手, (両)足, 上体のいずれの部分も男子に触れることなく男子がウエストの側面で女子をキャッチ 3) 女子の空中姿勢で(両)腕が頭より上にあがっているもの(最小でも完全に1回転) 4) 難しいテイクオフ(両者がステップやスケートティング動作からただちにテイクオフ)
リフト	<ol style="list-style-type: none"> 1) <u>シニア：テイクオフの難しいバリエーションおよび／または難しいランディングの変形</u> <u>ジュニア：テイクオフの簡単なバリエーションおよび／または簡単なランディングの変形(それぞれ特徴として数える)</u> 2) 1回のホールド変更および／または女子のポジション変更(変更の前後とも1回転, 繰り返されたなら2回数える) 3) 女子の難しいバリエーション(完全に1回転) 4) 難しい(ジュニアでは簡単な)キャリー(SPでは無し) 5) 男子のワンハンドホールド(全部で完全に2回転, <u>1回転に足りない部分は数えない</u>) 6) 5)の2回転に続く男子のワンハンドホールドでの追加回転(FSのみ, 1つのリフトのみ) 7) 男子の回転方向の変更(変更の前後とも1回転)
ステップ シークェ ンス	<ol style="list-style-type: none"> 1) シークェンス中の二人のターンおよびステップが, やや多様(レベル2), 多様(レベル3-4)(必須) 2) 完全に体が回転する両方向(左と右)への(ターン, ステップによる)回転. 各回転方向とも全体でパターンの少なくとも1/3はカバーすること. 3) <u>少なくともパターンの1/2において上半身の動きを使っている</u> 4) 少なくともシークェンスの1/3に及ぶ男女の位置交換(ステップやターンをしながら少なくとも2回互いに横切る) 5) 少なくともパターンの1/2は互いに離れない(ホールドの変更は行ってよい)
デス スパイラ ル	<ol style="list-style-type: none"> 1) 難しい入り方(ただちにデス・スパイラルに入る)および／または出方 2) 男子のピボット姿勢の変更(SPでは無し) 3) 女子および／または男子のアーム・ホールドの変更(各ホールド1回転) 4) デス・スパイラルでの女子の最初の1回転を超えた追加回転(回転を繰り返すごとにカウントする) <p>特徴3)および4)をカウントするのは両パートナーとも“低い”姿勢の場合のみである。(ISUコミュニケーション第1611号の明確化を参照のこと)</p>
ソロ スピ ン	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基本姿勢での1つの難しいバリエーション. (スピン・コンビネーションでは)中間姿勢でもよい. 2) 基本姿勢での別の難しいバリエーション. 前項のものと著しく異なるものであり, <ul style="list-style-type: none"> ● 足換えを伴う単一姿勢のスピンの前項のものと異なる足で行うこと ● 足換え無しのスピン・コンビネーション-前項のものと異なる姿勢で行うこと ● 足換えを伴うスピン・コンビネーション-前項のものと異なる足および異なる姿勢で行うこと 3) フライイングまたはバック・エントランス 4) シット姿勢またはキャメル姿勢, <u>レイバック姿勢, ビールマン姿勢</u>での明確なエッジの変更 (シット姿勢の場合にはバック・インサイドからフォア・アウトサイドのみ) 5) 一方の足で3つの基本姿勢すべてを含むこと(左右の足とも行った場合には2回カウントする) 6) 2回目の足換え(SPでは不可) 7) ただちに続けて行う両方向のスピンの 8) 姿勢/バリエーション, 足, エッジを変更せずに少なくとも6回転(キャメル, シット, レイバック, 難しいアップライト) <p><u>いずれの足換えを伴うスピンでも, 一方の足で獲得することができる特徴の数は最大2個である.</u> <u>足換えを伴うスピンでは, ショート・プログラム, フリー・スケートティングとも, 左右の足とも少なくとも1つの基本姿勢を含むことがレベル2-4を獲得するために必須である. スピン・コンビネーションでは, ショート・プログラム, フリー・スケートティングとも, 3つの基本姿勢すべてを含むことがレベル3-4を獲得するために必須である.</u></p>
ペア スピ ン	<ol style="list-style-type: none"> 1) 両者とも2回の基本姿勢の変更 2) 上項で要求された2回の基本姿勢の変更を超えて行われた両者の追加的な基本姿勢の変更 3) 3つの難しい姿勢バリエーション, 内1つのみは中間姿勢でもよい(各パートナーの各バリエーションは別個にカウントする) 4) 上項で要求された3つの難しいバリエーションを超えて行われた追加的な他の難しいバリエーション(各パートナーとも<u>少なくとも1つの難しいバリエーションを行わなければならない</u>) 5) バックワード・アウトサイドまたはインサイド・エッジからの開始 6) ただちに続けて行う両方向のスピンの 7) 姿勢/バリエーション, 足を変更せずに少なくとも6回転(キャメル, シット, 難しいアップライト)

明確化

ISU コミュニケーション第 1611 号で発表されている明確化は以下のように修正される。

ステップ・シークェンス(シングルおよびペア)： 上半身の動きを使っているとは、全部合わせればステップ・シークェンスのパターンの少なくとも $1/2$ は両腕，頭，胴体の動きをはっきりと使い，これらの動きが体幹のバランスに影響を及ぼしていることを意味する。

シングル： 同じ順序および同じエッジで行われた同じターンで構成されている場合には，2 つの難しいターンの組み合わせは同じものとみなされる。

スピン (シングル)： バック・エントランス，フライング・エントランス，エッジの変更，いずれの種類の難しいスピン・バリエーションも，レベルを上げるための特徴として数えることができるのはプログラム中で（試みられた最初のスピンの）一度のみである。通常のフライング・キャメルはレベルを上げるための特徴には含まれないが，フライング・エントランスを試みたものとされる。

リフト： 他方の足での着氷は，簡単なランディングの変形とは自動的にみなされない。5ALi (グループ 5, アクセル・ラッソー・リフト) および 5SLi (グループ 5, ステップ・イン・ラッソー・リフト) におけるインサイド・アクセル・テイクオフはテイクオフの難しいバリエーションとみなされる。

ペア・スピン： 4 つの難しいバリエーションが行われた場合（各パートナーの各バリエーションは別個に数え，各バリエーション少なくとも 2 回転）には，これらのバリエーションのうち少なくとも 2 つが基本姿勢で行われ，かつ各パートナーとも少なくとも 1 つの難しいバリエーションを行っているならば，その実施順にかかわらず 2 つのレベル特徴を獲得する。

デス・スパイラル： デス・スパイラルへの難しい入り方は，デス・スパイラルのカーブ上で，デス・スパイラル・レッグで行なわれ，実際のデス・スパイラル姿勢を取得する間は，その姿勢に至る動作は途切れることなく，あまり長引いてはならない。

デス・スパイラル中に女子の頭が女子のスケーティング・レッグの膝の高さに一度も達しない場合には，そのデス・スパイラルは無価値である。

V. 追加的な諸注意

1. 略記号 LSP は，レイバック・スピンだけではなく，サイドウェイズ・リーニング・スピンも意味する。
2. シングル&ペア技術委員会は，ショート・プログラムにおいて，ジャンプの直前にステップおよび／または動作が無い場合に行うべき GOE 減点について注意を喚起する。ステップの場合には，これらのステップのリズムの中でジャンプの踏み切りが行われなければならない。

ミラノ

2011 年 5 月 5 日

ローザンヌ

ISU 会長 **Ottavio Cinquanta**

ISU 専務理事 **Fredi Schmid**

日本語訳： 2011 年 5 月 23 日 第 1 版

2011 年 9 月 26 日 第 2 版